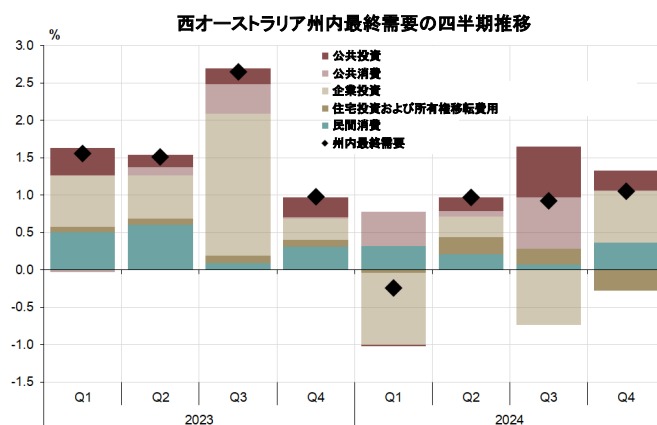
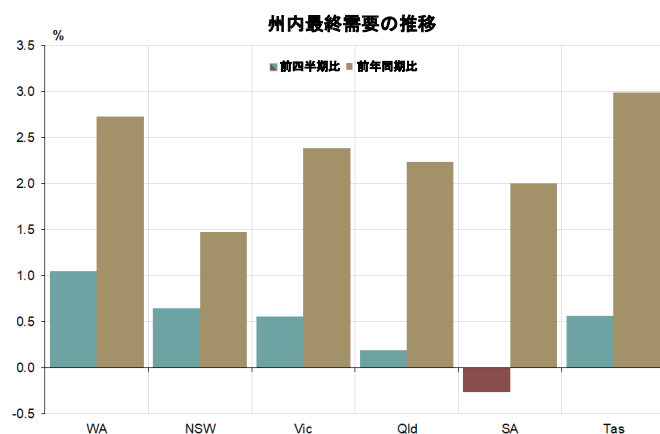


西オーストラリア州関連データハイライト

- 西オーストラリア州の州内最終需要は第 4 四半期に 1.1%増加し、通年で 2.7%増となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は 2 月に 5,100 人増加し、失業率は 3.4%に低下した。
- 西オーストラリア州の小売業は 2 月に 0.8%上昇し、前年同月比では全州の中で最も高い 6.2%増となった。
- CoreLogic によれば、パースの住宅価格は 3 月に 0.2%上昇したが、前年同月比では 11.9%上昇を維持した。

2024 年第 4 四半期州内最終需要

- 西オーストラリア州の州内最終需要は 2024 年第 4 四半期に 1.1%増加し、通年で 2.7%増となった。これらの伸びはオーストラリア全州の中で最も高かった。
- 四半期毎の州内最終需要で 0.7 パーcentageポイント上昇という最大の寄与を見せたのが、より大きな伸びを見せた非住宅建設(+2.9%)と機械設備支出(+4.0%)が主導し 3.6%増となった企業投資であった。非住宅建設の伸びを特に支えていたのは、4.9%増となった新規技術投資であった。
- 州内最終需要の伸びで 2 番目に高い寄与を見せたのが 0.7%増となった民間消費で、州内最終需要を 0.4 パーcentageポイント上昇させた。この伸びを主導した一因が、家計による 2024-25 年度初回電力料金補助の一部利用後の電気代自己負担額増による電気・ガス・その他燃料支出の 18.7%増であった。しかし、タバコ類(-7.0%)、通信(-1.2%)、レクリエーション・文化(-0.6%)を特筆すべき例外としつつ、大半の家計支出カテゴリは第 4 四半期に増加した。
- 公共投資はインフラ支出増を踏まえて第 4 四半期に 4.4%増となり、州内最終需要を 0.3 パーcentageポイント上昇させた。民間企業ならびに州および地方政府の支出はそれぞれ 9.8%増となったが、これは連邦政府投資の 10.4%減によって部分的に相殺された。
- 一般政府支出は、6 四半期連続の増加を経て第 4 四半期は同レベルを維持した。連邦政府支出の 0.8%増は、州および地方政府支出の 0.4%減によって完全に相殺された。
- 住宅投資(-4.8%)および所有権移転費用(-4.9%)は第 4 四半期に減少した唯一の主要支出カテゴリであったが、住宅投資は前年同期比 1.6%増、所有権移転費用は同 3.7%増と、両カテゴリとも 1 年前よりも高レベルを維持した。



オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	4.10	(0 pt)	AUD/USD	0.6247	(↑0.6%)
90 日銀行手形	4.13	(↑1 pt)	AUD/JPY	93.68	(↑0.2%)
連邦政府 3 年国債	3.70	(↓4 pt)			
連邦政府 10 年国債	4.38	(↑9 pt)	ASX200	7843	(↓329 pt)

市場概況

- 予想された通り、3 月 31 日から 4 月 1 日にかけて初めて 2 日連続で開催された RBA 金融政策委員会は政策金利目標を据え置き、さらなる利下げの見込みに関しては引き続き慎重な姿勢を見せた。
- オーストラリア国債のイールドカーブは 3 月に急上昇したが、月初には 2 月度の雇用およびインフレ数値の予想を上回る悪化を受けた政策金利引下げに対する期待の増大からカーブは緩やかであった。同時に、関税のインフレ圧力に対する懸念は、欧州の軍事費増強を許容する財政規則緩和後の債務問題の懸念と相まって、世界およびオーストラリアの長期利回りは上昇した。WATC 指標銘柄債券とオーストラリア国債の利回り格差は縮小した。
- 3 月の豪ドルは米ドルおよび日本円に対してわずかに上昇したが、ユーロおよび英ポンドに対しては大幅に下落した。同月の AUD/USD 推移に再び大きな影響を及ぼしたのが、米国の関税政策に関するトランプ政権の声明および保護政策が徐々に経済データの弱体化を招くことを暗示する最初の証拠であった。同月後半により重大な役割を果たしたのが国内要因で、同月半ばの期待を下回る雇用数値の発表後には CPI 指数の 2 月から 3 月末にかけての低下が発表され、両発表により RBA による政策金利引下げに対する期待が高まった。
- 3 月のオーストラリア株式市場は関税政策の世界およびオーストラリア両経済への影響に関する懸念から 2 カ月連続で下落し、4.0% の下落幅は 2 月 (4.2%) とほぼ同レベルであった。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り 2025 年 3 月 31 日		AGS スプレッド 2025 年 3 月 31 日	
2026 年 10 月 21 日	3.75	(↓12 pt)	+1 pt	(↓8 pt)
2027 年 10 月 21 日	3.80	(↓8 pt)	+9 pt	(↓6 pt)
2028 年 7 月 20 日	3.88	(↓7 pt)	+15 pt	(↓7 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.05	(↓3 pt)	+24 pt	(↓3 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.23	(↓2 pt)	+28 pt	(↓4 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.43	(↑1 pt)	+33 pt	(↓4 pt)
2032 年 7 月 21 日	4.58	(↑6 pt)	+38 pt	(↓3 pt)
2033 年 7 月 20 日	4.71	(↑7 pt)	+47 pt	(↑2 pt)
2034 年 10 月 24 日	4.95	(↑11 pt)	+60 pt	(↑3 pt)
2041 年 7 月 23 日	5.30	(↑11 pt)	+59 pt	(↓4 pt)

